

センターからのお知らせ

◆予防啓発ポスターパネルを貸出します◆

横浜 AIDS 市民活動センターでは、横浜市内の学校や福祉保健センター等の公共機関や一般団体の予防啓発活動用に、掲示パネル教材を無料で貸出しています。「知ってる？エイズのこと。」「レッドリボンって何？」「U=Uって何？」「性感染症って何？」他、それぞれの内容をわかりやすく伝えるパネルです。複数枚セットでの貸出も対応しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

センターのWEBサイトはこちら → <https://yaaic.gr.jp/>



◆図書貸出をしています◆

横浜 AIDS 市民活動センターでは、無料で図書の貸出もしています。

HIV・エイズ、性感染症、性教育、LGBT など様々な分野の書籍があります。

以下で図書一覧が確認でき、検索もできます。

<https://library.yaaic.gr.jp/>

センター内に試し読みができるスペースもあります。

貸出の際は本人確認のため身分証明書が必要です。



※センター開館時間 月・木・土曜日：11:00 - 17:00 水・金曜日：14:00 - 20:00
休館日 日・火曜日 8/13~8/17 (夏季) 12/28~1/4 (年末年始)

◆令和6年度「世界エイズデーポスターコンクール」が実施されます◆

- ・応募締切日：2024年9月3日(火) (当日受付印有効)
- ・募集内容：一人ひとりがHIV感染予防に取り組むことを訴えるもの、HIV陽性者・エイズ患者への理解と支援を呼びかけるもの、HIV検査の受検を呼びかけるもの
- ・主催：公益財団法人エイズ予防財団 (厚生労働省委託事業)

実施要領と応募用紙、昨年度の入賞作品など、詳しくはこちらをご覧ください。

<https://api-net.jfap.or.jp/edification/aids/poster2024.html>



令和5年度 一般の部 最優秀作品

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説！

ニュースレター 第174号
(2024年7月24日発行)



横浜 AIDS 市民活動センター

〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F
TEL 045-650-5421 FAX 045-650-5422
E-mail: info@yaaic.gr.jp
URL: <https://yaaic.gr.jp>



HIVとは…

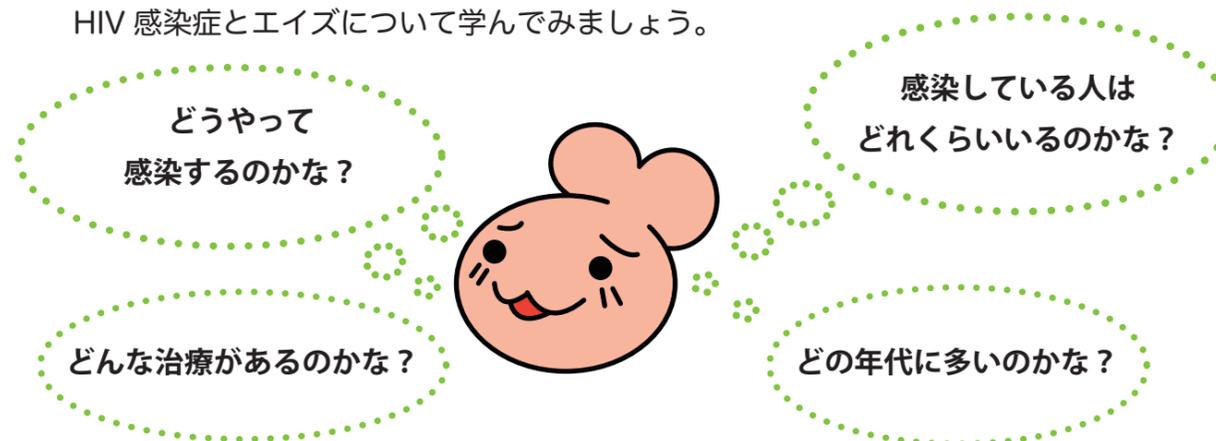
Human (ヒト) Immunodeficiency (免疫不全) Virus (ウイルス) の頭文字を取ったもので、からだを病気から守っている免疫力を低下させるウイルスです。

HIVに感染すると…

何年もかけて免疫力が徐々に低下し、様々な病気にかかりやすくなります。そのうちの指定された病気を発症すると、**エイズ (AIDS)** と診断されます。

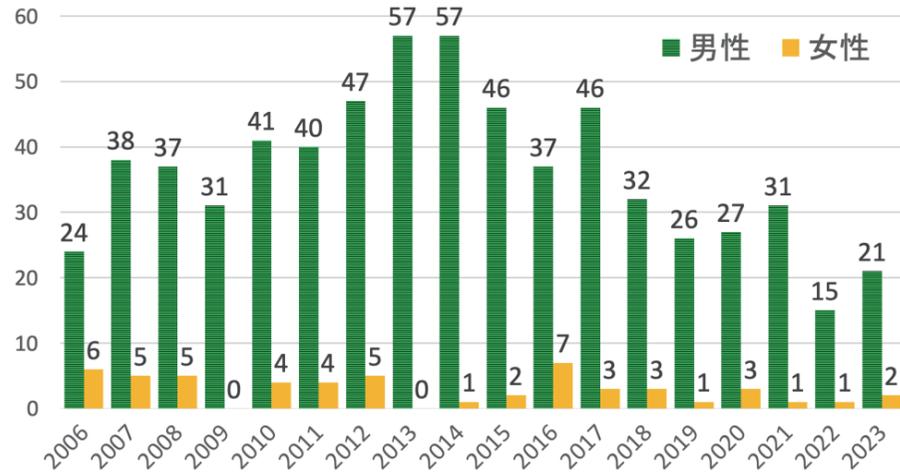
20世紀には、エイズ=死の病と考えられていましたが、近年は治療薬や治療の進歩により状況が変わっています。

HIV感染症とエイズについて学んでみましょう。

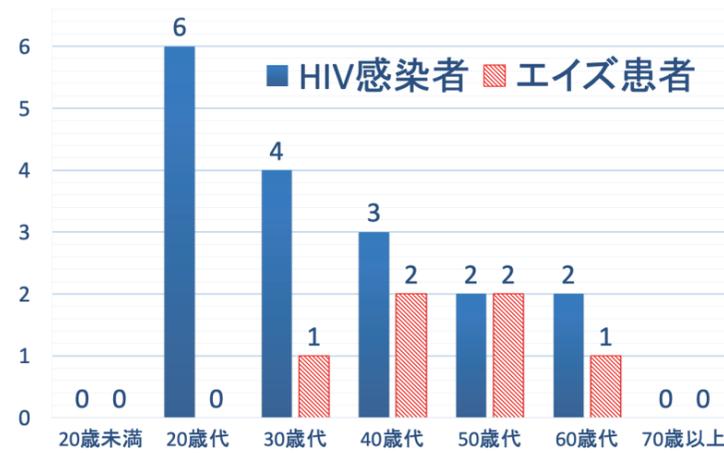


横浜市の感染状況

2023年には横浜市内で23人が新規に感染しています。その年代内訳は、20歳代が一番多くなっています。



横浜市内 HIV 感染者・エイズ患者数の年次推移



HIV 感染者・エイズ患者の年齢別報告数 (2023年 横浜市)

※参考資料：横浜市医療局健康安全課 令和6年4月 横浜市エイズ予防指針

感染の経路

性的接触による感染

最も多い感染経路です。
適正なコンドームの使用は
予防のための
有効な手段です。



母子感染

母親が HIV に感染している場合、
出産、母乳、胎内感染する
ケースがあります。

血液を介しての感染

HIV が混入した
輸血や注射器具などの
共用によって感染します。

HIV 感染症の現在

治療の進化

1990年代半ばには HIV に対する治療薬が開発され、HIV に感染しても、エイズを発症することを抑えられるようになりました。

最初の頃は1日に20錠以上の薬を飲まなければなりませんでした。今では、1日に1回、1錠の薬での治療が可能になりました。



1990年代

近年

※イメージ画像です。実際の HIV 治療薬ではありません。

2か月に1回注射をするだけの治療もあります。

効果的な治療を受けて、
血液中のウイルスを基準値以下に抑えられれば、
性行為によって他の人に感染させることもありません。



HIV は
このようなことで
感染することはありません

咳やくしゃみ



お風呂やプール



食べ物・食器を共有した
一緒に食事



握手



HIV は
とても感染力の弱い
ウイルスなので、
日常生活で
人にうつしてしまう
可能性は
限りなくゼロに
近いです

つまり、エイズを発症する前に
HIV 感染を知り、適切な治療を受ければ、
エイズを発症することなく、
変わらない日常生活を送ることが
できるようになっています。
HIV 感染の早期発見が
ますます重要になってきていると言えます。